

東北町議会だより

第16号

発行 東北町議会
編集 東北町議会広報
特別委員会
電話 0176-56-3111
内線 310
住所 東北町上北南
四丁目32-484



町道 保戸沢－浜台線 災害現場視察

主な内容

- ・主たる行政報告 2 P
- ・3月定例会で審議された議案 5 P
- ・一般質問 7 P
- ・各種委員会及び協議会の活動 15 P
- ・委員会報告 16 P

独自で進めていた、難視聴地域調査がこの度終了し、提案書が示されました。この調査結果をもとに、防衛省と協議を進め、現在放映されている8放送局の映像が、確実に期限までに見られるようにすることが私に課せられた責務ととらえております。

米の生産調整約16ha増・たばこ販売量平年並

農林水産課関係

12月議会で議決いただいた、燃油、肥料等高騰緊急対策費については、3月中には助成金の交付が出来るよう、事務作業を進めているところであります。

平成21年度から米の生産調整交付金が、新たに産地確立交付金に変わります。21年度は、20年度より約16ヘクタール増の生産調整を行う必要があり、制度の内容等は、すでに農家の方々に説明しているところでありますが、目標達成のために取り組んで行きたいと思っております。

また、20年度葉たばこの販売は、春のひょう被害を受けながらも、ほぼ昨年並みの結果と成っております。

駒嶺詔子さん、青森県健康づくり事業功労者等知事表彰を受賞

保健衛生課関係

2月23日付けで、駒嶺詔子さんが平成20年度青森県健康づくり事業功労者等知事表彰を受賞されました。

駒嶺さんは、多年にわたる地域における健康づくり運動の普及にとどまらず、現在も青森県保健協力員会等連絡協議会、初代会長として県民の健康づくり運動にも貢献されており、その功績が認められ、受賞されました。ご本人ご家族は勿論のこと、町にとっても大変名誉なことであり、誇りでもあります。そのご功績を讃え、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

東北東中学校が毎日カッポ中学校体力づくりコンテストで優秀賞。スキー大会で中学生活躍

学務課関係

平成20年12月25日から大阪府で開催された全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、上北中学校の男子1名が青森

県選抜チームのメンバーとして出場しております。

1月9日から大鰐町で開催された、青森県中学校スキー競技大会において、東北中学校の男子1名がクロスカントリー競技フリー・クラシカル女子1名がアルペン競技スラロームに出場し、入賞を果たし、1月26日から山形県で開催された東北大会並びに2月4日から岐阜県で開催された全国大会に出場を果たしました。

同じく上北中学校の女子1名が、青森県中学校スキー競技大会アルペン競技ジャイアントスラロームに出場し、見事、第3位に入賞を果たしております。

また、1月11日、京都市で開催された全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に、東北中学校の女子1名が、青森県代表選手として出場し、中学生区間を走り抜いております。続いて、1月31日から青森市で開催された青森県選抜中学校ソフトテニスインドア大会において、東北中学校の女子ペアが見事、優勝を果たしております。

それぞれの競技に出場され、大活躍をされた選手の皆さんには、心からその健闘を讃えるものです。

るものです。

2月8日に、コミュニティセンターで、教育委員会表彰授与式が行われ、関係各位並びに保護者の方々が多数参列され、文化活動及びスポーツ活動で、特に優秀な成績を収めた小学生145名、中学生65名が教育奨励賞を受賞されました。

この功績は、町の文化・スポーツ振興に寄与するものであり、受賞された児童、生徒には、ますますの飛躍を期待するものであります。

また、毎日カッポ中学校体力づくりコンテストにおいて、東北東中学校が全国4000校余りのエントリーの中から、見事、優秀賞に輝きました。同コンテストは、体力づくりの継続した取り組みや、生徒全体の総合的な体力のレベルが高い中学校を選出するもので、同校の保護者を巻き込んだ食育の指導や家庭と学校が一体となって規則正しい生活に取り組んだことが評価され、選出されたものです。

今回の受賞を契機として、今後より一層生徒全員が団結力を強固にして、勉強やスポーツに頑張って頂きたいものがあります。

賀会

8日 東北町教育委員会表彰授与式

東北町チャリティー素人芸能発表会

東北町民総合体育大会(冬季大会)

10日 議会臨時会

15日 東北町民綱引き競技大会

17日 産業建設常任委員会

18日 上北町建築組合定時総会

20日 東北町社会福祉大会

21日 東北町文化賞、体育・スポーツ表彰授与式

22日 東北町郷土芸能発表会

23日 総務企画常任委員会

24日 教育民生常任委員会

25日 産業建設常任委員会

26日 家族経営協定合同調印式

26日 全員協議会

27日 青友会定時総会兼懇親会

27日 議会運営委員会

産業建設常任委員会

3月定例会 行政報告



元東北町助役の岡山牧夫さん旭日単光章を受章

総務課関係

平成21年新年祝賀会が1月5日、町民文化センターにおいて、一般町民及び有識者の方々約180人のご出席を頂いて、盛大に開催され、新年にあたっての抱負や新町の展望等を語り合い、交流を深めました。

1月10日には、南総合運動公園で東北町消防団出初式が行われ、団員や消防署員、婦

人防火クラブ員等320人、ポンプ車等19台が参加し、堂々の分列行進を行ったほか、勇壮なまとい振りを披露し、出席者から大きな拍手が送られました。

また、2月1日付けで、岡山牧夫さんが旭日単光章を受章されました。

岡山さんは、元東北町助役町議会議員の要職にあつて、地方自治に貢献された御功績が認められたものであります。

ご本人・ご家族は勿論のこと、東北町にとつても大変な誉なことであり、誇りでもあります。その御功績を讃え、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

制限付一般競争入札を試行

財政課関係

平成20年12月19日に、指名願を提出している町内の業者

で、等級等が合えば誰でも入札に参加できるとした制限付一般競争入札試行要領を制定し、その説明会を12月25日に開催、町内60業者が参加しております。

1月5日に入札の公告をし、1月20日に上北地区の下水道管布設工事2件に、それぞれ12業者と13業者の参加を得て入札を実施いたしました。

より開かれた入札制度へ試行を続けながら、今後も制度改革に取り組んで参りたいと思っております。

除雪費とデジタル放送についての現況

建設課関係

今年度予定してありました事業については、交付決定が遅れております。乙供西地区のテレビ共同受診施設更新工事を除き、すべて発注済みであります。

本事業については近々の内に、東北防衛局から正式に交付決定の内示があることに成っており、今議会に繰越明許費の補正予算をご提案いたしてありますので、議決を頂ければ、直ちに発注したいと思っております。

また、次年度事業として計画してあります、(仮称)小川原湖交流センター建設用地取得が前倒しで、今年度の補助対象事業と成りました。ついては、土地開発公社から今年度中に用地を取得すべく、補正予算をご提案致しております。

なお、その他の発注済の工事については、天候にも恵まれたこともあり、順調に推移致しております。

また、除雪委託料につきましては、2月末日現在見込みで、東北地区約5182万円、上北地区約2880万円、合わせて、8062万円と成っており、当初予算計上額1億円の範囲内に留まるのではないかと見込んでおります。

さて、現在放映されているテレビのアナログ放送が、平成23年7月25日には、地上波デジタル放送に完全移行することが決定されています。このことは、町民、町にとつて最大の関心、懸案事項であります。私も、これまで障害の有無にかかわらず、あくまでも国の責任において、全町を対象とした更新整備工事を要求して参りましたが、来年度早々に行われる国の障害調査に期待しております。町

【議会の動き】

1月

5日 新年祝賀会

7日 東北町商工会新年会

8日 議会臨時会

10日 東北町消防団出初式

15日 甲地小学校新校舎竣工式典

18日 東北町連合婦人会室内運動会

25日 東北町女性レクリエーション大会

28日 国民体育大会東北冬季大会

30日 甲地小学校新校舎落成祝賀会

2月

2日 上北郡町村議会議長会第3回定例会

5日 全国市議会議長会基地協議会総会

6日 誘致企業懇談会

6日 議会運営委員会

7日 議会広報特別委員会

7日 県営中津1号堤地区ため池等整備事業竣工祝

平成21年度当初予算の規模

対前年度伸び率

一般会計	102億3,800万円	△19.31%
特別会計	61億9,002万8千円	△2.96%
企業会計	1億9,410万4千円	4.84%
合計	166億2,213万2千円	△13.66%



副委員長 佐々木 スミヨ



委員長 蛭 沢 正 雄

◎3月定例会の概要
 3月定例会は、3月3日招集され13日までの11日間の会期で開催されました。
 なお、新年度予算審査にあたり、予算審査特別委員会を設置。委員長には蛭沢正雄議員、副委員長には佐々木スミヨ議員が選任されました。委員会では付託された10件が2日間にわたり慎重に審議されました。委員長から本会議にその内容を報告され、議会は、一般会計及び国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については賛成多数、その他の会計については全会一致で原案どおり可決しました。
 また、本会議では7人の議員が一般質問を行い、活発な議論が交わされました。
 審議された議案は以下のとおりです。

3月定例会で 審議された議案

◎専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて
 ・予算の総額に1516万1千円を追加し、総額を134億1766万5千円とする
 全会一致で承認

◎平成20年度東北町一般会計補正予算案
 ・予算の総額に4億5605万7千円を追加し、総額を138億7372万2千円とする
 全会一致で可決

◎平成20年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案
 ・予算の総額から1億6237万円を減額し、総額を29億657万2千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町老人保健特別会計補正予算案
 ・予算の総額から43万円を減額し、総額を2億4568万円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町後期高齢者医療特別会計補正予算案
 ・予算の総額から1255万2千円を減額し、総額を1億3314万9千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町介護保険特別会計補正予算案
 ・予算の総額に2478万3千円を追加し、総額を18億8586万6千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町介護サビス事業特別会計補正予算案
 ・予算の総額から38万7千円を減額し、総額を2760万2千円とする
 賛成多数で可決

賛成多数で可決

◎平成20年度東北町農業集落排水事業特別会計補正予算案
 ・予算の総額から262万2千円を減額し、総額を8751万5千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町公共下水道事業特別会計補正予算案
 ・予算の総額から435万2千円を減額し、総額を8億1779万4千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成20年度東北町簡易水道事業特別会計補正予算案
 ・予算の総額から566万6千円を減額し、総額を2億5264万8千円とする
 全会一致で可決

全会一致で可決

◎平成21年度東北町一般会計予算案
 ・予算の総額を102億3800万円と定める
 賛成多数で可決

賛成多数で可決

◎平成21年度東北町国民健康保険事業特別会計予算案
 ・予算の総額を28億7009万円と定める
 賛成多数で可決

賛成多数で可決

東北町文化賞授与

社会教育課関係

去る2月21日に行われた、平成20年度東北町文化賞、体育・スポーツ賞授与式で、長年にわたり、わが町の文化の向上、発展に、ご功績のあつた方々、並びに各種大会等で優秀な成績を収められた19名に対し、それぞれ文化功労賞、文化奨励賞を授与致しました。受賞者には、改めて心からお祝い申し上げます。

旧小正月の伝統行事と風習展開催

歴史民俗資料館関係

今年度3回目の特別展で、今年15回目となる「旧小正月の伝統行事と風習展」を上北小学校児童や、わかさぎ保育園児、大浦神楽保存会、町内の高齢者など約280人の参加をいただき、2月6日に開催いたしました。参加者全員で、もちつきや繭玉づくりを行った後、わかさぎ保育園児による苗取り、大浦神楽保存会による門打ち行事、雪中田植えなどを行い、昔の風習を楽しみながら、今年1年間の

五穀豊穡を祈願いたしました。

町民総合体育大会他スポーツ大会結果と本町出身選手の活躍状況

スポーツ振興課関係

12月14日に岐阜市で開催された、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会で、本町出身の野田頭美穂選手が所属するワコールチームが7位入賞し、出場された野田頭選手の健闘を讃えるものです。

12月21日に京都府・都大路で開催された、全国高等学校駅伝競走大会に、10月、北総合運動公園で開催の青森県大会を制した青森山田高等学校・男女両チームが出場し、男子6位に入賞、女子14位と健闘されました。青森山田高校チームには、本町出身の大久保幹也、黒川遼、吹越京子の3選手が所属しており、全国大会の出場とその健闘を讃えるものです。

1月2日、3日正月恒例の東京箱根間往復大学駅伝競走大会が開催され、出場した城西大学チームの一員として本町出身者で初めて箱根路を走った石田亮選手の健闘を讃えます。石田選手は、区間賞を取っ

た選手と併走・激走し、たすきに賭ける仲間の気持ちと学校の名誉を賭けて、一つでも先を目指した姿勢は、大きな感動を与えてくれました。地元の後輩たちの目標になってくれるものと、今後の更なる活躍を期待するものであります。

2月21日には、4回目の東北町体育・スポーツ賞の授与式を挙行致しました。今年度の受賞者は101名の方々が長年にわたり、本町のスポーツの振興に尽くされた方に贈られる功労賞に4名、特別賞に1名、国際大会の出場や全国大会等で優秀な成績を収めた方に贈られるスポーツ賞に7名、そして東北大会や県大会等で優秀な成績を収められた方に贈られる優秀選手賞には、個人30名と5団体59名が受賞されております。受賞者の方々には、衷心よりお祝いを申し上げるとともに、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

町内で開催された行事では、1月25日の女性レクリエーション大会で滝沢平分館が優勝しております。

2月8日に冬季大会が終了した第3回町民総合体育大会には、16チーム、総勢千百余

名が参加され、秋季大会を終えて、一歩リードしていた旭町を第一小が逆転し、総合優勝に輝きました。準優勝に小川原、第3位に旭町の結果と成っております。

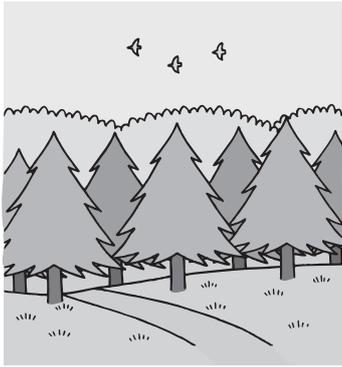
今年度、最後のスポーツ大会であります、町民綱引き大会が2月15日にトレーニングセンターで開催され、小学生の部は舟ヶ沢Aチーム、一般男子は舟ヶ沢分館チーム、女子はナイトクイーンズチームがそれぞれ優勝しております。

各種大会に町民多数の参加を頂き、すべての大会が盛会裏に終了することが出来ましたことを感謝申し上げます、ご報告いたします。

3月

3日	東北町議会定例会
8日	舞台部門芸能発表会 (開会)
9日	東北町たばこ耕作振興 会定例総会
10日	東北町議会定例会 (一般質問)
11日	東北町議会定例会 (一般質問)
12日	予算審査特別委員会
13日	予算審査特別委員会 東北町議会定例会 (議案審議)
16日	東北町青年農業者経営 者会議定期総会
23日	東北町(旧上北町)肉 用牛生産組合定時総会
24日	中国農業技術研修生歓 迎会
26日	消防功労受章祝賀会





◎水産物荷捌施設使用料減免に関する陳情

採択

◎甲地中央公園のトイレ整備に関する陳情

委員会付託

平成21年 第2回議会臨時会

2月10日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎地方分権改革における国の役割に関する意見書について

全会一致で可決

一般質問

7議員 町政を問う



岡山 柏 男 議員

千曳・清水目地区に農産物直売所の設置について

質問

国の食料・農業・農村基本計画では、食料自給率の向上を目指しつつも、競争力の弱い小規模農家を切り捨てようとしております。我々には、農家を支える使命があります。千曳、清水目地域は、コカブ

など軽量野菜と酪農の地域であり、農業経営規模が比較的小規模で、農協等への農産物の販売環境が悪く、女性就農者の多い地域であります。この地域の一部農家には、小さくてもよいが、直売所を望む声があります。

立地的には、国道4号線が通り、下北半島や青森市への通り地でもあります。また、東北町の貴重な文化遺産保存施設、日本中央の碑保存館と公設トイレがあることから、ここには年間2千人もの入館者があり、多くの観光客が利用されており、けさの新聞記事に、町長初め町民が切望していた一般国道45号上北道路の事業費22.9億円の予算がつき、今月中に事業着手となるといふ記事がありました。この道路が完成すれば、さらに観光客の誘客が図られるものと思えます。

この千曳、清水目地区に農産物販売所を設置することで、この地域の農業収入の向上と活性化の手助けにつながると考えますが、町長の考えをお尋ねしたいと思います。

答弁

ご指摘のように千曳、清水目地区は、日本中央の碑保存館があり、駐車場や公園もあり、立地条件に恵まれているところでもあります。農産物の簡易的な直売所であれば許可は要らないということになっておりますので、地域の皆様方が組織的に自分たちでやるということになれば、私は可能であると考えております。農業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありますので、組織さえ出来れば前向きに検討させていただきます。

各種委員への女性の参画について

質問

平成11年6月に男女共同参画社会基本法が施行され、10年になります。各自自治体において、男女共同参画基本計画を定めなければならぬとされておりますが、施策の設定がされているでしょうか。当町では、18年に東北町男女共同参画推進会議と男女共同参画懇話会が設置されているが、その開催状況を示していただきたい。

女性が変われば、町が変わると言われておりますが、これは女性よ頑張れという励ましだと私は思っております。今、女性ならではの個性や能

力を十分に発揮し、町づくりを総合的に進めていく時ではないかと考えています。当町の行政委員会の女性登用状況は、8%であります。県の目標値の30%からすると、まだ低い状態です。執行機関委員並びに政策決定の場合の女性登用についてどのようになっているのかお答えをいただきたいと思います。

答弁

町長

男女共同参画社会については、国の方針であり、また県の定めているところであります。町村によっては、この基本計画をすでに定めているところもあります。私もそこまで持っていきたいということで、推進会議及び懇話会を年間7回ほど実施しております。

政策決定の場に女性の登用をというお話でございます。現状は、執行機関と言われるものの中で、教育委員会、農業委員会等、約59名おりますけれども、残念ながら女性3人と極めて少ない状況であります。ただ、農業委員の場合はどうしても地区から負担を受けることが義務づけられております。地域から農業に

◎平成21年度東北町老人保健特別会計予算案
 ・予算の総額を100万円と定める
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町簡易水道事業特別会計予算案
 ・予算の総額を3億2704万3千円と定める
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町後期高齢者医療特別会計予算案
 ・予算の総額を1億4350万8千円と定める
 賛成多数で可決

◎平成21年度東北町上水道事業会計予算案
 ・収益的収入及び支出の予定額を、収入1億6962万3千円、支出1億9410万4千円と定める
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町介護保険特別会計予算案
 ・予算の総額を19億4222万4千円と定める
 賛成多数で可決

◎東北町個人情報保護条例案
 ・個人情報保護に関する法律の趣旨に基づき、条例を制定するためのもの
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町介護サ―ビス事業特別会計予算案
 ・予算の総額を2908万5千円と定める
 全会一致で可決

◎東北町ながいも洗浄選別・貯蔵施設条例案
 ・東北町ながいも洗浄選別・貯蔵施設を設置及び管理について条例を定めるためのもの
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町農業集落排水事業特別会計予算案
 ・予算の総額を8969万1千円と定める
 全会一致で可決

◎東北町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案
 全会一致で可決

◎平成21年度東北町公共下水道事業特別会計予算案
 ・予算の総額を7億8738万7千円と定める
 全会一致で可決

◎東北町ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領の改正に伴い、所要の改正をするためのもの
 全会一致で可決

◎東北町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例案
 全会一致で可決

◎乳幼児医療費の給付方法等について、現物給付等に対応するため所要の改正をするためのもの
 全会一致で可決

◎東北町介護保険条例の一部を改正する条例案
 第4期介護保険事業計画策定に伴い、平成21年4月1日より平成21年度から平成23年度までの介護保険料率を改正するためのもの
 賛成多数で可決

◎東北町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例案
 ・介護従事者の処遇改善を図るとして平成21年度の介護報酬の改定の趣旨等にかんがみ、当該改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため、東北町介護従事者処遇改善臨時特例基金を設置するためのもの
 全会一致で可決

◎東北町国民健康保険条例の一部を改正する条例案
 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、東北町国民健康保険条例の一部改正をするためのもの
 全会一致で可決

◎東北町小川原湖公園施設・東北町アメリテイ広場・東北町就業改善センター・東北町園農付環境改善センター・東北町多目的乾燥調整施設・東北町土壌診断飼料検定センター・東北町水産物荷捌施設・小川原湖中央棧橋・船ヶ沢分場漁業用棧橋・東北町ながいも洗浄選別・貯蔵施設について指定管理者の指定をするためのもの
 全会一致で可決

◎財産の取得について
 ・(仮称)小川原湖交流センター建設用地として土地を取得するためのもの
 賛成多数で可決

◎工事請負契約の一部変更について
 ・ながいも洗浄選別・貯蔵施設整備2期工事について、国内における鋼材価格高騰により、請負代金を変更するためのもの
 全会一致で可決

◎輝ヶ丘辺地の総合整備計画の策定について
 ・輝ヶ丘辺地に係る公共施設の総合整備計画を策定するためのもの
 全会一致で可決

◎青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議について
 全会一致で可決

◎和解について
 ・ながいも洗浄選別プラント製造設置工事請負契約の契約解除に伴う違約金について和解するもの
 議案撤回

は、雇用、経済面において地域に馴染まないのではないかと
 と言われました。落札率77%
 ともう一件は75%、この価格
 の競争にはあまり参加するこ
 とは出来ないかと思われま
 す。ただし、全ての業者が公平に
 参加でき、競い合える場があ
 るということが本来の入札の
 姿だと思えます。町長は偏つ
 た指名5社の方法にしがみつ
 き、密室の審査会で業者を決
 定し、その結果「提訴」とい
 う事態を招きました。真の公
 平公正であるべき行政が、町
 民と争うなどということは全
 く理解できないことです。今
 後の入札の仕方、また提訴し
 ている業者との和解の意思に
 ついて答弁願います。

答 弁

町長

一般競争入札を行い、当日
 は会場に入りきれないほど参
 加があるのかなと思っており
 ましたが、思ったほど参加す
 る業者が少なく違和感を持っ
 たのは事実であります。

今後の入札のあり方ですけ
 れども、何回か施行してい
 町独自の一般競争のルールを
 決めなければいけないと思っ
 ております。
 裁判の和解をするつもりは

ございません。これはなぜか
 という、旧東北時代の5年
 間の得られるべき利益をもと
 にして損害賠償をされており
 ます。恣意的、意図的に外し
 ていると言われております。
 9月末に行われた入札では落
 札している。油も継続して契
 約している。しかも、段階を
 踏んで4月から共同企業体の
 改革、今の一般競争入札、着
 実に前進をしております。基
 本的には今の段階では和解す
 るつもりは無く、争うつもり
 であります。

質 問

町村合併について

次に町村合併をして町民は
 合併前と合併後をどのように
 感じているのか町長は考えた
 ことがありますか。合併とは
 財政の思惑だけのものではあ
 りません。人事の交流、地域
 の交流、強いては教育、観光
 とそれぞれの発展のためでも
 あります。あまりにも合理的
 な発想で事を進めるがあまり、
 町民の真の義理・人情・正直
 な思いというものに配慮を欠
 いてしまったのではないです
 か。祭り、商工会、町の行事
 など、まだまだ本場の意味で
 合併に至っていないとおも
 いません。相手の意見を十分

に聞き、それぞれが助言しあ
 い、悩みを共有し、そして共
 に努力すれば私自身こんな
 も町長批判することもなかつ
 たと思っております。今まで増
 進センターに6回の一般質問、
 政治姿勢に4回、それ以外に
 榎おがわら湖への委託につ
 いて質問してきました。合併し
 て4年で感じた成果とその具
 体例を示してください。
 また、町民バスを上北では
 土日も運行しておりますが、
 東北地区で運休している理由
 をお尋ねします。

答 弁

町長

両町お互いに、財政が立ち
 行かなくなるおそれがあると
 いうことで合併をしたはずで
 あります。その基本は財政で

あり、合併したときは貯金が
 8億でありました。3月の補
 正後は、13億であります。そ
 のほかに、別途12億の合併振
 興基金を積み立てしています。
 財布の中身をきちっと確立し
 たからこそ政策ができること
 こそ思っている一人でありま
 す。
 それから、私も四役で、
 ずっと4年間、私3割、副町
 長2割ずつの報酬削減をして
 きました。これは、町民にも
 痛みを伴うということからす
 れば、みずからの責任では当
 然だろうと思っております。
 また、議員の皆様と一緒に
 要望活動した上北道路が新幹
 線開業と余りずれない時期に
 できる見通しであり、着実に
 進んでいくだろうと思ってお
 ります。

新町の建設計画、そして町
 民の声をミニ計画としてまと
 めました。製本して毎年更新
 しており座談会においてでき
 るもの、できないものをきちつ
 と報告して公平公正な町づく
 りの基本としております。

答 弁

企画課長

東北地区の町民バスにつ
 いて、東北地区の福祉センタ
 が土日休んでいるために現在

は町民バスも運行しておりま
 せん。

答 弁

教育長

選挙活動は中立、公平でな
 ければならない自覚をして常
 日ご業務に携わっております。
 ご指摘の件については、
 たまたま私の家の隣なもので
 すから、後援会から届けてく
 れということでは実は届けた経
 緯があり、政治的意図はもち
 ろんございません。指摘を受
 け、軽率だったという思いで
 あります。特に選挙活動等に
 ついては厳正、中立を保って
 いきたいと思っております。

質 問

上北職業能力開発
協会について



議員 正 雄 沢 蛸

上北職業能力開発協会へ毎
 年町から約100万円の補助
 金を出しております。また、
 これまで100万円の修繕も

思いをはせる女性の方がどんどん進出してこれれば、女性の感性で政策の方向も定められるのかなという思いがいたしております。その他の委員会も調べてみましたけれども、43委員会あり、912名の内、男女比率は男性が57%、女性が43%、この辺はバランスがとれていると思います。なるべく女性の感性というものを行政に役立てていきたいという思いでありますのでご理解を賜りたいと思います。



蛸名 鉦 治 議員

質問一
(仮称)小川原湖交流センターの実設計後の事業変更理由はなにか

(仮称)小川原湖交流センターの実設計完了後における事業内容の変更理由につきましてお伺いいたしますが、なぜ実施設計の完了後の変更なのか。町長は、再三この事業計画を変更する際は、事前

に議会に相談し、議論した上でこの事業を進めると答弁されますが、この事業につきましてはほとんどが結果報告であります。したがって、今回はその経緯も含めて、事業内容の変更につきまして改めてお伺いいたします。

まず、事業費総額が14億8千万円から16億4千500万円と、実に1億6千500万円もの増額となりましたが、その理由としてトレーニング室を新たに加えたことと地質調査の結果による工法の変更等があるということですが、その具体的な変更理由をお伺いいたします。

次に、営業収入、営業支出の変更について伺います。先般の全員協議会におきまして、建設課長は自動販売機の収入及び各種教室等の受講料の収入を計上していなかったため、収入に加えるとの説明でありましたが、この件につきましても具体的な理由をお伺いいたします。

また、さきの全員協議会の中で、建設課長は収支の変更もある旨の説明を資料もなく口頭で説明をいたしました。そして、その資料の提出を沼山議員が強く求めましたが、結果的には資料の提出はありませんでした。しかしながら、

その変更後の営業収入、営業支出の資料が全員協議会終了後の次の日に自宅へ配付となりました。恐らくは、すべての議員の皆さんに配付されたと思えます。なぜにこの収支の資料がありながら、次の日の配付なのかもあわせてお伺いいたします。

答 弁

町長

仮図面のもとに、保健協力委員、食生活改善委員の皆様にも意見をいただいて、食生活の活動ができるように、厨房を6力所、その隣に会議室も設けて、健康、食育のところで意を注いでやってきたところであります。また、6月に議員の皆様と袖ヶ浦健康づくり支援センターを視察して、やはり食生活改善、プール、トレーニング室と結びつけるほうが、特定健診に絡む予防のところでもかなり効果を発揮できるといった判断をいたしましたので、面積約114平米を追加させていただきました。事業費の増額については、地質調査結果から立地場所がいわゆる田んぼであり、建物も二階建てということから、杭の工法や長さも12mから25mへ変更、経費削減につなが

答 弁

建設課長

各種教室の具体的な収入内容でございますが、まず一つには、プールを利用した水中運動や体操、それから水泳教室等、これらで一ヶ月1人3千円×約30人×4組で、これを年間にしますと約432万円。次に、多目的ホールを活用したヨガ、エアロビクス、それからストレッチ教室等で、同じく432万円。もう一つには、多目的ホールとプールを組み合わせたエクササイズ、これも同じような考え方で432万円という計画を持ってあります。その他保健師、栄養士による月一回の健康相談や、ダイエット教室、体験教室等で一ヶ月約200人×千円×12ヶ月で240万円、こういった内訳で合わせて1500万円の収入を見込んでおります。

ヒートポンプについては、夜間の格安の電力、業蓄電力

質問一
今後の入札のあり方と提訴している業者との和解の意思について



乙 供 吾 一 議員

平成21年1月20日、一般競争入札が行われました。その説明会の際には60社もの業者が集まったのですが、入札そのものには12社のみでありました。2月23日の委員会において、応札業者が少ないことに対し町長は「一般競争入札

契約を利用して50トンクラスの水をためて、その熱を利用するタイプのもので、これ大体70度のお湯を確保するという計画であります。温度が若干下がることもありますが、それを若干使いますが導入することにより燃料費が大幅に軽減される計算になります。

自動販売機は7台から8台設置予定でございます。



市川俊光 議員

質問一
町民の雇用確保について

年越し派遣村の様子がい
るなメディアを通じて伝え
られ、大企業の大規模解雇によ
って仕事も住む場所も失った人々
の大変な状態が全国に知らされ
ました。竹内町長は、町の
新年祝賀会のあいさつで、大
企業は内部留保を取り崩して
でも雇用を守ってほしいと話
されましたが、私も全くその
とおりだと考えます。今大量
解雇によって寒空の下にほう
り出されている派遣社員の皆
さんは、非正規雇用の劣悪な
労働条件の中でも、その労働
を通して自分が受け取る賃金
の何倍もの利益を会社にもた
らしてきた人々です。大企業
の大量解雇の影響、また景気
悪化の影響が我が町にはどう
いう形であらわれているのか
ということについてお尋ねを
いたします。

大企業との結びつきのある

町内の工場などで生産調整や
人員整理が行われてはいない
でしょうか。町民の就業状況
を脅かすような事態は生じて
いないのか、把握している状
況をお知らせください。

また、大量解雇された人々
を吸収する新たな雇用を生み
出すことが今全国的な取り組
みにもなっています。我が
町では新たな雇用創出と就労
支援にどのように取り組まれ
るのかお考えをお尋ねいたし
ます。

答弁

町長

誘致企業は、私みずからも
行きました。まず従来を10
0とすると、現在50から、40
ぐらいという企業もあり、極
めて深刻な状況であります。
また十四、五名をやむなく採
用できない部分もあったと。
しかしながら、時間の短縮で
何とか雇用のところを守って
いきますという話も聞いて
おります。そういう意味で、
誘致企業は特に大手の経営状
態に、かなり影響を受けてい
る部分があります。

一方で政府が打ち出した緊
急雇用創出事業補助金につい
て県を通して要望してまいり
ました。この関係では、雇用

質問一

国民健康保険税の
住民負担について

を22名ほど、確保できる見通
しで、今般の予算措置を講じ
ているところであります。ま
た、ふるさと雇用再生特別会
計補助事業というのがありま
して、これについては県、国
との打ち合わせで、極めて厳
しい道のりであったのですけ
れども、雇用が9人と、この
事業も認められているところ
であります。延べにしますと
3年間で77人、金額にして約
7500万の政府の補助金を
活用した雇用対策の部分に当
てはまると思っております。

新年度の予算案の中には、
健康診断の中身を拡充し、受
診者の自己負担をなくするこ
とや子供の医療費の無料制度
を高校生まで広げることなど、
町民の健康を守り、負担の軽
減を図るということでの積極
的な施策が盛り込まれていま
す。私は、これらの新しい取
り組みについて大いに歓迎し、
前向きに評価をいたします。
また、介護保険料について一
定の負担軽減が行われること
も、今町民が税や社会保障の
負担に苦しんでいる中で、町
としての負担軽減への努力で

あると受けとめています。
しかしながら、この数年間、
国の政治によって強いられて
きた負担増は、町民にとつて
余りにも大きく重いものであ
ります。政治の自身が国民に
痛みを強いることを是として
進められてきたからです。多
くの町民は、今の国民健康保
険税の負担が重過ぎると心か
ら実感しています。

質問二

トラブルが続く六
ヶ所村再処理工場
について

六ヶ所村の使用済み核燃料
再処理工場が操業前最終段階
の試験運転、いわゆるアクティ
ブ試験を開始したのは、ちょ
うど2年前の2007年3月
でした。日本原燃の当初の予
定では、17力月の試験運転を
行い、昨年の8月には本格操
業に入る予定となっていました
。ところが、この2年間、

答弁

町長

市川議員がおっしゃるよう
に、基金は1億3700万ほ
どございます。当初の試算で
は、20年度のところで積み立
てができるような状況であつ
たのも事実ですけれども、現
時点です算してみたところ、
逆に基金を崩さなければいけ

ない状況になるのではないの
かということもあって、国保
運営委員会でもこのことにつ
いては十分理解をいただいで、
今回は見送ることといたしま
した。

一連の政策の中で、私がか
きなかつたのがこの国民健康
保険の負担軽減であります。
この負担が本当に大きいとい
うことは重々承知いたしてお
ります。介護保険料について
は、いろいろ努力してもらつ
て下げることにいたしました。
今回はできませんでしたが、
ども、この国保は、1年ごと
に改正ができますので、状況
を見ながら、ぜひそういった
道を開いていきたいと考えて
おります。

していることから、運営が適正に行われているものと思っております。

しかし、先般のNHKのニュースによれば、全く訓練生がいなかった時期もあったと聞いて驚いております。過去に、上北職業能力開発協会に補助対象の定数の生徒がいないのではないかとこの質問に担当課長は、訓練生は定数に達していると答えたと聞いています。また、平成20年度当初予算の同僚議員の質問に対して担当課長は、同協会には7人いると答弁したと記憶しております。

定数に達しない訓練生がいなかったとすれば、同協会に補助金を出し続けたことは大変な問題であります。そこで、同協会が補助金の不正受給等をしているとNHKが報道されたが、事実はどうなのか、実態を答えていただきたい。私は町にとって非常に大事な学校だと思っておりますので、誠意を持って、つぶすのではなく、これからも青少年のために必要な学校でありますので、そういう意味できちんと調査、聞き取りをして、どう支援したら継続していけるか措置をとっていただきたいと思います。

答弁

町長

上北職業能力開発協会の補助金不正受給というのは、これは県の管理下であり、私どもには全然その報告はなされておられません。県から検査が入っているようですが私どもは全く知らされていません。報道が先行されて、県もコメントできないということですが、まだ事実はわかりませんのでご理解をいただきたいと思っております。

質問一
財政の見通しについて

町長は行く先々で財政基金並びに減債基金を5億近く積み立てたと自慢しているようにございます。そういう意味で、私も再度この件について質問したいと思います。

平成21年度予算で医療費を高校生まで無料化並びに生活習慣病などの特定健診や人間ドック等の個人健診の無料化

については、私も賛成ですが、これに加えて、(仮称)小川原湖交流センター計画等々で、町民も財政が豊かであると錯覚を起こすような予算であります。

しかし、平成18年度公債費を平準化して公債費の返済を先延ばしし、1億4千万円ほどの損失です。内訳は4千万円は公債費、公庫の借りかえの損失です。1億円は、利息ということになります。

また、合併時の地方債は約126億4千万円で、平成20年度末見込み約153億9千900万円で、差額が27億5千700万円の増額で、合併基金が約12億円あるが、どうして基金を約5億円も増やしたと言えるか、私は疑問でありません。やはり中身をもつと精査した財政見通しを答えたいと思います。

答弁

町長

私はこの借換債は絶対に負の遺産にはならない、後世に負担にはならないと、必ず均衡した財政を築けると判断したから提案しました。

繰上償還をしますと、国の繰上償還の基準、いわゆる規定がありまして、補償金も取られることも事実であります。しかし、そういった繰り延べをして、金利を下げながら、今の状態の結果が出ております。それから、皆さんもご存じ

のように、全町民に5年間の財政の見通しを示しましたが、これは青森県40市町村の中で我が町だけでありまして、そして当初、私どもが示した年度毎の収支計画よりもふえる見通しなのです。例えば19年度5千万、20年度2億6千万、21年度4億、22年度5億、23年度で5億と増える見通しなのです。ですから、医療費とかいろいろなものを還元しながら、地域の人たちに少しでも元気になってほしいと思っております。去年12月にも農業、漁業、畜産に5千万円、商工にも約900万の独自の経済対策を講じました。これも財政基盤を築いてきたからでき

ることでありましてご理解をいただきたい。

質問二

役場の現職職員が
土地改良区理事補
欠選挙へ立候補した
ことについて

沼崎土地改良区理事補欠選挙が、3月上旬に行われたと聞いております。私は、立候補者並びに沼崎土地改良区に對しては、何も他意はありませんし、同改良区運営に干渉するつもりは毛頭ございません。

答弁

町長

土地改良区の理事選挙は、本人から事前に相談を受けました。地方公務員法に職員の営利に伴うものについては、私の許可があればできるとあります。

今回の件は本人が3月末に定年退職という事情も考慮して判断させていただきました。

しかし、立候補者並びに当選者が町の管理職、役場の現職職員であるということに、私は驚きとともに地方公務員法に抵触しないか疑問に思いました。報酬も日当もいたたくことになるし、何よりも権力を持つということですが、公務員は公僕という立場です。町長の立場なら一般人になつてからやりなさいと言わなければならないと思います。違法でなければ良いというのは好ましくないと私は思います。

して誕生するものではないのです。私は行政みずからも農業団体なり農家と一緒にあって、1・5次加工なり、いろいろなこと計画的にお金を投入してやっていくべきだと思います。今の方法では、余りにも手づかみ方式に感じてならないので、お考えをお伺いいたします。

答弁

町長

農家がいろんな意味で、今の状況からすると経営が立ち行かなくなるおそれがあるという危機感を持つているのも事実であります。ですから、去年町独自で経済対策も講じさせていただきました。農業者、漁業者、畜産、ある程度基準はありましたけれども、3月末で支払い終わる予定ですが、これは六ヶ所村、東北町、七戸町だけだと思います。商工業界にも光を当てたのは、我が町だけではないのかなと、こういう思いがいたしております。

新規参入者への助成については補助事業があり、現在1人の方がこの制度を活用されました。また、4月からこの制度は使わなくても、東北町に住んで、実際に農業をやっ

てみたいという方が1人いらつしやるというふうなことも聞いております。そういう意味で、PRはできていなかったかもしれないけれども、制度的に今も残っておりますので、それを活用して、新しく挑戦する人たちにも光を当てることができるとい思いもいたしております。

休耕田の活用に関しては、

飼料米については、原料等の代替になるものとも認識して、奨励をいたしているところであります。転作に対する加算の5万5千円については新規でなければ適用にならないといった難点がございます。そういう意味で新規以外も適用してほしいと、県、国へ要望していきたいと思っております。

農家の手取りをふやす対策と、これはだれしもが思うのが当然であります。我が町は有機供給センターというものを既に完成させて、農家の方に安全、安心の食料をつくるための着実な歩みを続けてきているところだと思っております。それに加えて、長い

も洗浄選別施設により、保管料、輸送費、などコスト削減になると思っております。これは全国に誇れる施設だと言われております。また、施設に伴い、農協さんの人件費の

負担軽減となる3年間で5千万円の国補助金を認めていただきました。コスト削減にはかなり影響があるし、競争力を高めることができるかと私は信じております。

質問一

誘致企業及び雇用対策について

今我が町の誘致企業はどこに会社も大変な状態でございます。現にテレビ等でも報道されまして、あなた方が毎年恒例的に誘致企業の代表と懇談しては、何社ございますか。たつたの5社でしよう。しかも、来た会社は準公共的といつてもいいような会社等であり、これは誘致企業の皆さんはあなた方に期待を託してないと言わざるを得ません。せつかく我が町に来た誘致企業で、もつと中身を精査して、適期の療法を打ち出していた

だきたい。雇用対策について商工観光課長は、商工会の情報からいけば我が町には、失業した人、二名はいるようだけれども、そんなにいないと。この程度にしか受けとめていないから、痛みを知らない我が町の政治だと、こんな批判が出

るのです。今我が町の現状を見るときに、仕事をもらえない土建業者がどのくらい作業員を切っているのか。それ以前に県外から帰ってきている人がたくさんおります。そこで、今我が町で即対応できるのが、農家にこうした雇用策を対応させることだと思っております。就農を受けた農家に何らかの支援策をやって、雇用者にある程度の補償をす

質問二

みんなが生きる業者対策について

今我が町に、指名願が出ている業者、八十数社あると言われている。しかし、どうせ地元についても手紙1本来ないだろうと、他町村や県外に出稼ぎしてこつこつと頑張り、町にはしっかりと税金を払っている業者が何十社もあるようです。

私は、弱者にも平等に光を当て、生きる、頑張るチャンスを与えることが政治の使命だと思つてるところでございます。政治という理念に基づいて、いま一度みんなが生き残れる指名業者策を含め、考えるべきだと思つが、いかにお考えでしようか。

答弁

町長

現在誘致企業そのものは、東北地区が8社、上北地区が6社、調べた段階で431名の方が従業員としております。うち東北町出身者が232名、約54%の方が地元雇用となっております。これは、何とか地元の人を採用して、雇用の拡大で町に税金を納めていただくように、毎回私も事あるごとにお願いをしながらやってきた経緯もございます。力

及ばずと言えはそうかもしれませんが、これについても鋭意努力をしていきたい。

答弁

町長

みんなが生きる業者対策は、だれしも願つてるところであつて、異論はございません。ただ、合併後の工事発注額が旧東北町1町と同じぐらいで業者数が倍になっております。県、国も、公共事業を3%近く減らしてきておりますが、我が町は公共事業に対し予算をつけながら、雇用にもつながる

再処理工場ではトラブルが相次ぎ、いまだアクティブ試験がいつ終了するのか見通しが立たない状況が続いています。

特に今起こっているガラス固化体を製造する過程でのトラブルは、東海村の再処理施設の溶融炉でも解決できなかった問題点をそのまま六ヶ所村の商業用の溶融炉に引き継いだものです。炉の中で高レベル放射線廃液を適切にコントロールすることができないというものです。日本原燃は、

間もなく操業を予定している商業用溶融炉の中で、まだ確立できていない核燃料の再処理の根本となるところの技術の試行錯誤を行っている状態、実際の商業炉で実際の高レベル放射性廃液を使って、六ヶ所所で初めての本格的実験を行っている状態となっています。今、六ヶ所村で起こっている事態は、事業者、日本原燃の安全への姿勢、住民への誠実さがどのほどのものかを示しているのではないのでしょうか。

私は、我が町の町民の安全と自然、産業を守る立場から、六ヶ所村の核燃料サイクル事業と再処理工場の操業に対し、中止することを求めるべきであると考えますが、町長の見解をお尋ねいたします。

答弁

町長

市川議員がおっしゃるように、極めて安全、安心に欠けるようなトラブルが随所に起きてまいりました。私もこの事故のたびに社長なり副社長から報告を受け、遺憾の意を表しながら、絶対二度と再びこういう事故を起こさないでほしいと強く申し入れております。特に我が町は1次産業が盛んな町、そして小川

原湖という資源を持つております。その影響ははかり知れないものがあるという判断をして、これまで隣接で5市町村からなる幹事会でも14回ほど要望、口頭注意、厳重注意ということを繰り返しております。また、議会の特別委員会でもいろいろ精査しながら、この問題に真剣に取り組んできた経緯があります。

この件については、国の審査を受けて、現在進められている稼働だと認識しておりませんが、市川議員の意見を重く受けとめて、お話された内容を踏まえ、来るべきときにはきちっとした形で意見を申し上げてまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。



沼山喜久男 議員

質問 農林業の発展に対する考えを問う

質問

我が町のことしの1月31日現在における農業委員会での台帳からいけば、2千9百名超の農家がいることになっておりますが、私は農業センサスの数字から考えますと、2千名は切っていると、こう思っています。我々はお互いに人前に立つときは、農家あつての東北町だと力説しているところでございますが、町長は、今我が町の農家の状態をどの程度で感覚で受けとめているのか、その認識によって対応が変わるわけです。そんなところから、お考えをお聞かせください。

そして、新規就農については我が町に3年前に1人の新規就農がございましたし、今また農業委員会にそうした申し入れがあるようです。今我が町に広大な農地がある中で70歳を超えた農業経営者が多く

あと何年もつだらうと心配をするときに、こうした新規就農者に対する支援策は当然必要だと思うが、考えを聞きたい。

さらには、Uターン組でございます。我が町でも県外から不況等々における解雇によって、多くの次三男が戻ってきていると私は思っています。つい最近の話ですが、農業をやめようと思ったが、3番目の息子が会社切られて正月に戻ってきたと。今仕事探すと

いつても大変だと思つし、いつそのこともう一回農業をやらせようかと、こんな声を直接聞いています。今政治がこうした多くの方々に支援策を示して、我が町の農業発展のためにも取り組むべきだと思いますが、いかがでしょうか。

次に、休耕田の活用対策でございます。我が町には、現在休耕している面積が余りにも多いわけでございます。現在飼料作物等、地力増進のためと、こう称しまして、最低基本額8千円をもらっている田んぼが約1千ヘクタールあると私は思っています。新聞等では現在の休耕田に対する奨励金制度は、見直さざるを得ないというようなことが報道されておりまして、私も少なくとも向こう二、三年の間に

そうしたこと等が出るだろうと、こんな思いがするときに、休耕している1千ヘクタールの1割でも100ヘクタール、もし3割とすれば300ヘクタールの今8千円より収入を上げていない田んぼに飼料米等を作付することによって、5万5千円の加算があるわけです。さらに、それらから生産した米の付加価値をつけて、飼料米なり、米農家からの油なり、いろいろ取り組むことによつて、少なくとも1億円、2億円の新規の作物が誕生するわけでございます。そんなことを考えるときに、町長は考えたことがあるのかないのか含めてお伺いしたいと思います。

次に、農家の手取りをいかにしてふやすか、これも12月に申し上げました。今の農家は、販売金額はそんなに変わっていないなくても、資材等々の高騰などによつて手取りが半減しているよと、このままなら農家は3年もたないような気がしてならないよと、こんな発言もいたしました。町長は、長いもの施設をつくることによつて東北町のブランド化がより進み、ニンジンも大根もそれによつてブランドが定着するということのようなあいさつをしているが、言葉だけでは決

いと思います。

質問一

町民に分かりやすい町政運営と町民の要望を反映させる策について

最終設計の終えた(仮称)小川原湖交流センターですが、この施設に対する町民の声は反映されるのかどうかお聞きします。アンケートによる調査を行った後の設計に関する過程は、協議委員なるもの意見しか取り入れていないようにも見受けられますが、公開ヒアリングの実現の可能性はあるのかどうかお答え願います。

交流センターに関しては、収支に対し議員からこれまでにさまざまな質問がありましたが、町民の望むものをつくってほしいと思いますので、町長のお考えをお聞きます。次に、予算の周知と要望に対する策についてです。120億もの予算で運営される我が東北町ですが、果たしてその内容が町民に周知されているかどうか、お考えになったことがありますでしょうか。北海道のニセコでは、120ページを超える予算書を町民にわかりやすく説明したもの

を作成し、毎戸に配布しております。我が町の取り組みについて、町長の思いをお聞かせ願います。

次に、要望に対する策についてです。現在行われている地域ミニ計画、座談会、大変すばらしい施策だと思えます。ただ、毎年の予算に関して言えば、あと一歩踏み込んでほしいと思うのが私の要望であります。他の自治体の例で言えば、鳥取では町百人委員会なるものを設け、すぐれた事業案を予算に組み入れております。また、愛知県では地域会議なるものを各地区に設け、事業計画を作成させ、各地域年間2千万円を上限に事業化する制度を立ち上げました。我が町では、町民の声、願いを反映させる施策について、あるのかどうか答弁願います。

答弁

町長

これまで交流センターについて委員会を作り、保健協力委員、食改善の人たち、商工会、それぞれの方々から意見を聞き、その上で地域の声を反映させてプランができたと思っております。私どもが気がつかない部分に町民からご意見をいただければありがた

いという思いがあります。公開ヒアリングは必要に応じてやりたいと思っております。

予算の周知、徹底ということですが、毎年広報には予算について載せていただいております。そして、座談会ときには主な項目を申し上げてきた経緯がございます。ミニ計画についても着実にこたえていくために、予算計上させていただいているところがございます。これはどうしても補助金にのらない側溝、道路等が、至るところにあるために単費の予算が必要であります。そういう意味で、着実に地域の要望にこたえていきたいと思っております。また、今やっていることがベターだとは思っておりません。他町村では政策的な委員会を設置していることも承知いたしております。そういったことも参考にしながら町民とともに歩む行政、本当の意味で町民の声が行政に反映され、みずからの手で活力ある町づくりをしていくのが原点と思っております。

各種委員会及び協議会の活動

協議会の活動

★総務企画常任委員会

開催日	事件(内容)
2月23日	(1) 所管事務調査 3月議会提出案件(補正予算案、単行議案)の概要について 平成21年度主要事業の概要について その他
	(2) その他

★産業建設常任委員会

開催日	事件(内容)
2月17日	(1) 所管事務調査 ながいも洗浄選別・貯蔵施設の工事進捗状況について 所管事務調査
2月25日	(1) 3月議会提出案件(補正予算案、単行議案)の概要について 平成21年度主要事業の概要について その他
2月27日	(1)(2) 所管事務調査 3月議会提出案件(補正予算案、単行議案)の概要について 平成21年度主要事業の概要について 陳情2号 水産物荷捌施設使用料減免 その他

よつな拡大をしてきたというふうには認識をしておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

質問四

公正公平ひらかれた活力ある町づくりについて

今こそ2万町民の手に政治を戻すべきだという思いで申し上げます。1つ、あなたは新生東北町は私の町だと、こう表現しています。私は、新生東北町は2万町民のものだと、私たちのものだ、こう力説するものでございます。トップといえども、私の町と私物化されては困るのは町民なのです。そんなことから、あなたが言う私の町の意味をいま一度お聞かせください。

次に、あなたの公約の中に、私利私欲のない町づくり、商い心を持った町づくりと、こう見ました。私利私欲のある政治家など、有権者が認めるはずがないのです。何がゆえに、今この時点においてあえて私利私欲のない町づくりをしようという公約をしているのか。さらには、商売心で政治をしたら、どんな町になりますか。政治、政策は、たとえ収支上マイナスであっても、

注入しなければならぬことには注入しなければならぬ。いかにして町民の負担を最小限度にして町勢発展をめざすのが基本なはずです。

1つ例を挙げれば、長いもの施設、20億円の事業として、半分は国の補助金、残り半分は95%の特例債。ですから、今必要なのは5千万のはずです。それを委員会にも相談することなく、理事者と農協でいつのまにか3億円寄附させることにしました。私は、怒りを持って農協のトップの方々を言ったら、寄付しなければやれないと言われたから、仕方ないと。商いの心からいけば、3億の寄附金取って5千万使えば、ここに2億5千万が残る。ああ、さすがだな。でも、そのために今とさうほく天間農協がどれだけ資金繰り、経営で苦しんでいると思いませんか。こんな手法で、政治を商売的な発想でやったら、苦しむのは町民であり、豊かになるのは、町の金庫だけかと言わざるを得ません。当然反論があると思しますので、答弁お願いします。

答弁

町長

農業者、商業者、それからサラリーマンの方々、高齢者など、どの階層、どの部分にもこれほど政策的にやってきた町は、そうないと思っております。教育、医療費、健診、町民バスの問題にしても、かなり広い分野で地域の活力に結びついているものだと信じて疑いません。合併は財政が立ち行かなくなるおそれがあるから、一緒にしよう。そして、両町とも資源があり、個性があり、お互いに支え合っている。いながらいけば立派な町づくりができるというものは、沼山議員さんと同じであるだろうと思いません。手法は違つたかもしれませんが、透明性がある町政をやってきたと、このように思っております。

長いもの施設に対する農協からの寄付については、当初からこの分を寄付するから、ぜひお願いしたいということに進んできました。町が無理強いして3億円取つたということではありませんので、ご理解いただきたいと思います。



山端伸憲 議員

質問一

小川原湖の環境とEM菌の投入について

合併してこの4年間、我が宝沼、小川原湖についてはさまざまな質問をしてまいりました。地域再生法を活用した湖畔の水処理施設、漁師の所得向上のための施策、そして水質改善のための施策など、常に小川原湖に関しては何も向けてきたつもりであります。毎年悪化していくこの小川原湖について、今後10年で4億もの予算がついたと説明がありました。私が町単独で小川原湖についての施策があるかどうかお聞きします。

また、20年度は調査費がついたとお聞きしましたが、その調査結果は公表できるのか、そして40億もの予算措置の中身は、実際に湖畔に住み、漁を生活の糧としている町民の意見は尊重されるのかどうかお答え願います。

答弁

町長

また、町長は環小川原湖の市町村で構成されているEM菌の協議会の会長だと聞いておりますが、今現在、小川原湖にEM菌は使用されているのかどうか、また我が町でも使用しているのかどうか答弁願います。

この小川原湖の環境保全については、小川原湖を取り巻く長い歴史の中で生産者や住民の思いがあるはずであります。その地元の声、現場の声を反映してほしいと国にお願いしているところでもあります。そういう意味でも小川原湖の環境、資源、そしてやがては高瀬川の放水路の拡大になりますけれども、未来永劫に守る礎を築いていきたいと思っております。

小川原湖へのEM菌の投入については当初は漁協の理事会の決定に基づいて投入した経緯はありますが、その後、中止してほしいということ、それ以来、今から4年近くにたりますけれども、我が町は小川原湖に直接EM菌を投入いたしていません。今後直接投入するつもりはないということを確認に申し上げた

○産業建設

常任委員会

(2月17日開催)

委員長 岡山 柏 男



所管事務調査結果

農林水産課関係

町側から、建築工事については9月15日から鉄骨の建て方を予定していたが、実際には10月29日の立柱式から本格的な鉄骨工事が始まった。この一ヶ月半の遅れが、屋根、外壁、土間コンクリート、機械設備、電気設備等、あとに続くすべての工事に影響し、工期内の完成が厳しい状況になっているため、現場の状況を確認していただきたいと説明があった。

委員からは、工期延長が必要であるという相談のための

委員会なのか、遅れているけれども、3月いっぱいまで完成できるから現場の状況だけを見てくればいいのか、はつきりしない。工期延長は我々が結論づけるものではない。延長が必要であれば、そのことを議題にして議論するが、はっきりしてほしいと意見が出された。町側はこれに対して、今日は工期延長のお願いではなく、現状をみてもらいたい。3月中旬に一部試運転まで出来るように最大限努力しているとのことでした。

また、現場で業者は、計画通り順調に工事は進んでおり、遅れていないと言っていた。どうということなのか。町側の当初計画ではなく、落札後に役場と業者がすりあわせした工程表はどうなっているのか。次の委員会に資料として出してほしいと意見が出された。また、入札で3ヶ月もずれた訳だから、工期を1ヶ月や2ヶ月のばしてもりつばなもの造ったほうがいいのではな

建設課関係

(2月25、27日開催)

建設課では、委員から、数千万円の既決予算を0円に近

い形で減額補正など大幅に減額しているのが随所に出てくるが、なぜこうなるのかと質疑があり、これに対しては、例えば県営事業の場合には、町の負担分を予算化しておきなさいとなるが、用地買収等で計画通りに進まなかった場合など、県とのやりとりの中でこういった形になるとの説明があった。またテレビ共同受信施設設置事業のデジタル化に向けた繰越予算と、上北中学校校舎改修事業債の事業費確定による減額の説明、また、地域活性化・生活対策臨時交付金事業の説明があった。辺地対策事業について委員から、昨年に枋木崩出線は来年度にという話だったが道路整備の優先順位をどのように考えているかの質問に対し、辺地債で岩渡大橋の先から寒水輝ヶ丘線までを最初に考えている。枋木崩出線についてはその後の財政状況によるとのことであった。また、27日には、交流センターの営業収支状況について説明があった。委員から、調理室をつくることや燃料費、人件費の積算について質疑があった。

農林水産課関係

農林課では、ながいも洗浄選別・貯蔵施設の残工分を繰越明許とする説明があった。工期延長は議決してなくてよいのかとの質疑に対しては、工期は参考として示したので議決事項ではないとのことでした。また、肥料が高騰している中、放牧場の肥料代の減額はなぜかとの質疑には、入札時期と値上がり時期とのずれによる結果であるとの説明であった。また委員から、もつと農家のためになる事業がでないか、今年、飼料米の規模を拡大したなら、農協と協力するなど農家のために研究すべきだとの意見が出された。



ながいも洗浄選別・貯蔵施設を視察

商工観光課関係

商工観光課では、委員から、

町内の誘致企業の経営が苦しいといった報道があったが、地域の大事な雇用場である誘致企業については、定期的調査するなどして、報道される状況になる前に対策をすべきだと意見が出された。また、上北職業能力開発協会について県からの補助金に関して質疑があった。また、道の駅の外壁塗装の計画に対して、委員から、黒字である(株)がわら湖でやるべきではないかと意見が出された。また、観光協会運営費の内訳について質疑があった。

水道課・下水道課関係

水道課では、電気料の補正について説明があり、20年度は漏水によるポンプの稼働が多く、それに伴う増額の補正になる。漏水箇所については随時補修していると報告された。また、甲地地区簡易水道再編推進事業として、甲地、水喰、舟ヶ沢、滝沢の簡易水道を統合し、水量、水質の安定した水源を確保するとの説明があった。

下水道課では、事業費及び工事予定地区、また浄化槽設置整備事業の概要について説明があった。

★教育民生常任委員会

開催日	2月24日	事 件 (内容)
		(1) 所管事務調査 3月議会提出案件(補正予算案、単行議案)の概要について 平成21年度主要事業の概要について (2) その他

★議会運営委員会

開催日	2月6日	事 件 (内容)
		(1) 地方分権改革における国の役割に関する意見書について 臨時会招集請求について (2) 3月定例会付議事件の概要について 一般質問通告の状況について 請願・陳情等の受理状況について 請願・陳情等の取り扱いについて 議会終了後の懇親会について その他

★全員協議会

開催日	2月10日	事 件 (内容)
		(1) 損害賠償請求事件の経過について 地域活性化・生活対策実施計画について (2) 平成21年度当初予算案について (仮称)小川原湖交流センターについて ながいも洗浄選別・貯蔵施設について その他

★議会広報特別委員会

開催日	2月6日	事 件 (内容)
		議会だより第15号の編集について その他

委員会報告

○総務企画

常任委員会

(2月23日開催)

委員長 沼田 徳右衛門



所管事務調査結果

総務課関係

総務課では東北第3分団(千曳)の消防ポンプ車の更新について、購入後21年経過しており、修理部品もなくなっ

り方を考えていくとのことでした。

企画課関係

企画課では定額給付金の補助金交付要綱について説明があり、東北町定額給付金の試算は約3億1千万円であること、また、所得による給付基準は設けないとのことでした。また、小川原湖191里づくり協議会を立ち上げ、滞在型観光開発を目指した「体験プログラム」として農業、漁業、林業、酪農への宿泊体験などの案が整ってきているとのことでした。

財政課関係

財政課では国の定額給付事業及び子育て応援事業実施に係る準備経費について一般会計予算を補正する必要が生じ、2月18日付けで専決処分したことが説明された。また、委員からは、交流センターに絡む、国からの補助の見通しと、全体の工事の概要について質疑があり、町側は、国からは交付決定をいただいております。今回の補正で予算措置し、先行取得していた土地開発公社には3月末に全部精算できる形で進んでいる。設計については26日の全員協議会で説明することにしておりと説明があった。また、一般競争入札が試行されたことについては継続していくべきだと意見が出された。試行を続けていくのかとの質問には、今後も試行しながら一般競争入札のあ

税務課関係

税務課では県の徴収支援を受け、県職員が月に4日来て合同で徴収しており、効果をあげている。不況により、町民税法人と国保税だけは1月時点で徴収率が下がっている。今後徴収について強化してまいりたいとのことでした。

○教育民生

常任委員会

(2月24日開催)

委員長 佐々木 スミヨ



所管事務調査結果

福祉課関係

福祉課では、介護保険料について21年度から基準額で月額390円引下げること、また子供の医療費助成を高校生までに引き上げる予算案の説明があった。委員から、子供が減っているため保育所経営が大変だと聞いている。定数割れしている保育所は定数を下げたいようだが、保育所の定数の部分について聞きたいと質疑があり、町側は、現在の定数は790人で実際の入所人数は759人となっている。入所率は全国平均50

%に対してわが町は90%になっている。地方県民局の考え方は、少人数規模の保育所で、最低限の人数を下回る所は廃業もという考え方である。経営者側に立った考えだけで進められない状況にあり、入所率を上げ、努力しているとの説明があった。また、国の第二次補正予算に盛り込まれた子育て応援特別手当について定額給付金の支給時期にあわせて3月中に支給し、対象者は約300人、概ね1千100万円になる説明があった。

町民課関係

町民課では、経済状況により国保税の徴収率を当初92%見込んでいたものを91%まで下げざるを得ないとの説明があった。委員からは悪質なものに對しては法的な措置を含めた対応が必要ではないかとの意見が出された。また、基準である93%の徴収率を下回った場合の国からのペナルティーについての質疑には、段階的に5%、7%、12%と調整交付金が減らされるとのことでした。

保健衛生課関係

保健衛生課では、老人福祉センターの改修に伴い、利用者からの強い要望で、町民バス待合所の建設工事を予定しているとのことであった。

学務課関係

学務課では、学校の耐震調査と統廃合について質疑があり、町側は、統廃合は今のところ考えていない。小川原小学校と蛸沢小学校の耐震調査を5月頃予定しているとのことでした。また、複式や少人数による部活動などの小規模校の課題についての質疑には、子供の推移からほとんど複式が増える傾向ではない、少人数については、スポ少、部活動、修学旅行、文化活動も含めて広域で考えるように進めている。大規模校と小規模校の連携教育の考え方で問題を克服したいとのことでした。

中央公民館関係

話を聞きたいという要望があることや、県としても広域的に進めていきたいということから事業として進めていくとのことでした。

中央公民館関係

中央公民館では、委員から乙供の元町と栄町・坂下町の集会施設について、建設場所や面積など、現時点の状況を聞きたいと質疑があった。これに對して、栄町・坂下町集会場は、現在の坂下町集会場の場所に建て、道路隔てたところを駐車場に考えている。元町は町内会の要望により、現在の場所は日陰で暗い場所であることから別な場所へ建てる方向で進んでいて、面積はどちらも同じ位とのことでした。

スポーツ振興課関係

スポーツ振興課では、委員から、町の水泳教室へ申し込みにしても人数制限により断られる事例が多いようなので、インスタラクターを確保するなどして枠を広げてほしいとの意見が出された。また、運動公園施設の利用料は統一する方向で進んでいるとのことでした。

社会教育課関係

社会教育課では、21年度新規事業として町民大学の説明があり、著名な講師の講演会等による生涯学習の場を提供することとし、レベルの高い

議会事務局からのお願い

議会議長あての文書や案内状などを出す場合は、議長の公務日程上の調整を必要としますので、議長の私宅に送付しないで、直接議会事務局にお届け下さるようお願いいたします。

送付先 039-2492
東北町上北南四丁目32-484
東北町役場内 議会事務局内議長あて

編集後記

今月は議会だより第十六号をお届けします。

本号は3月定例会を主に編集しましたが内容の一部分を要約しておりますことをご了承ください。

編集委員会では町民の皆様にお知らせの紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等ありましたら匿名でも結構ですので、ご投稿をお願いします。

- 議長 榎館 長 吉
- 委員長 笹倉 健
- 副委員長 蛸沢 正 雄
- 委員 佐々木 スミヨ
- 委員 沼田 徳右衛門
- 委員 森川 盛 人
- 委員 岡山 粕 男